

J03-01 リギングとは何か？

Rigging

リギングとは、角度計、メジャー、ゲージなどを使って、艇やオールの一部を計測・調整し、漕ぎやすく、また効率的で、強く、パワーを発揮し続けられる状態をつくることです。

1 リギングとは何か？

What's Rigging?

リギングとは、艇・オールの各部分を、漕手や漕環境(水面の状況など)に対応して最適な状態に調整することです。ある状態に設定し、試漕し、修正する。それを繰り返し、最適状態に近づけます。基本的・常識的な設定値を知っておくことも役に立ちますが、それよりも、試漕の中で漕ぎの状態と関連するリギング要素のつながりが正しく観察し、把握できることが最も重要です。リギングには、さまざまな計測要素がありますが、ここでは主要なものだけを紹介します。



リギングは基本さえ正しく身につければ難しくない。

1.1 ワーク高

Work height

オールロックの高さのことで、ブレードの深さやハンドルを引く高さに影響します。

2.2 スプレッド、スパン

Spread or Span

スプレッドは艇の中心からオールロックまでの間隔のこと、スパンとは、スカル側の両側のオールロックの間隔です。ハンドルの左右位置やインボードとも関係します。

2.3 ワークスルー

Work through

オールロックの前後位置のことで、これを変えると、オールの移動角度、力の推進効率、キャッチ・フィニッシュの容易さ、ハンドルの左右変動などが変化します。

2.4 ブレードカバー角

Blade pitch

ブレードと鉛直面とのなす角度で、ブレードの深さに関係します。効率的な口ウイングにとって重要で、深すぎるブレードはブレーキとなり、逆に浅すぎると水中に充分固定できません。

2.5 ストレッチャーの傾斜、高さ

Stretcher angle and Height

ストレッチャーボードの傾斜角や、ストレッチャーシューズ(かかと)の上下位置は、前傾姿勢の形成や脚力の発揮の最適化に関係します。

2.6 インボード、てこ比

Inboard and Load ratio

ロードレシオとは、テコとして働くオールのテコ比のことで、オールのカラーの位置を変えることで調整します。最適な出力状態を達成するために重要です。テコ比を調整するとき、インボード(カラーからハンドル端までの長さ)も変化し、これはハンドルの左右の移動幅に関係します。

2 計測器具

Measuring Tools

2.1 角度計(傾斜計)

Slant Rule

各部の傾斜の角度を測るものです。ローイング専用のものがありますが、市販のものの方が使いやすいこともあります。角度計や水準器など特に、正しい値を示すことを、点検しておかなければなりません。



Pocket Oar Inclination Adjuster (マルチノリ製)

2.2 水準器

Level

水平または垂直を計測するためのもので、リギング中に艇の水平を確認するときに使用する。デジタルのものもあるが、気泡式の方が良いだろう。



水準器。写真は短いものだが、長短2つくらいがあると便利。

2.3 スティック(ハイトゲージ)

Height Gauge, L-gauge

主にワーク高を測定するもので、ガンネル上端の水平面をオールロック間近まで伸ばすために約130cmの直線的な棒状のゲージです。Lゲージなどと呼ばれるように、鉛直部を持つものがよくみられるほか、いくつかのタイプを工夫できます。



パンタグラフ型。リガーの干渉を避けることができる。さらにシートからオールロックまでを直接計測できる。

2.4 テープ・メジャー

Measure

いわゆるメジャーです。長さは、スイブオールの全長が計測できるよう、4mあれば十分でしょう。